



一学期の各学部の様子を振り返って

沖縄県では6月20日(木)に梅雨明けはしたものの、例年よりかなり気温が高い気候が続いています。新聞によると、108年ぶりの猛暑で、熱中症警戒アラートの発表も連日続いています。そのような猛暑にも負けず、本校幼児児童生徒たちが大きな事故や怪我も無く多くの学びを経験できた一学期となったことを嬉しく思います。保護者・関係者の皆様にも感謝申し上げます。長い夏休み、一学期に学校で頑張ったことや経験したことを振り返るとともに、二学期への展望をもつことを期待しています。

「保護者学習会を通して」(幼稚部)

4歳児、5歳児クラスの7名が在籍する幼稚部では、保護者による保育参加をとおして、連携を深めながら子どもたちの教育に携わります。4月に行った親子リトミックでは、お母さんと楽しく関わる様子が見られました。7月には講師を招き、保護者学習会を企画。子どもたちの健やかな成長に向けた連携と児童理解を大切にしていきます。

「待ちにまった水泳学習!」(小学部)

7月5日(金)小学部1年の水遊びの様子です。最初は怖がっていた児童も水に慣れ、今ではみんなと楽しく遊ぶことができます。

プールの安全祈願も済ませ、待ちに待ったプールでの水泳学習では暑さを吹き飛ばす子ども達の歓声が夏の風物詩になりました。



「1人1人が成長した校内実習&就労体験」(高等部)

本校高等部の113名は5月27日から6月7日の10日間、実習及び就労体験を経験しました。校内6班、9カ所の企業、37の福祉サービス事業所の協力とご家庭の応援を受け、一人一人が奮闘した10日間となりました。事後学習では、目標達成についての振り返り、周りとの関わりや貴重な経験についてまとめています。

「進路だより」や高等部の掲示物で詳しく載せておりますのでどうぞご覧下さい。

また、日々の職業の取り組みの延長として、近隣保育園から依頼を受け、トイレトレーニング用ペーパーをたたみ、納品を継続して行っています。社会参加、貢献の一步につながる学習も経験しています。

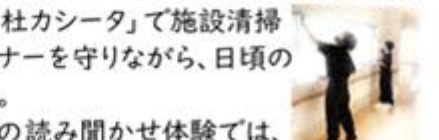


「施設清掃」「読み聞かせ」から得たもの(美里分教室)

美里分教室には36名が在籍しています。6月の「職業」の授業では老人ホーム「美里の杜カシア」で施設清掃の実習を行い、校外でのマナーを守りながら、日頃の学習の成果を発揮しました。

また、「おとは保育園」での読み聞かせ体験では、園児達へ問いかけながら、楽しい時間を過ごすこともできました。後日、保育園職員が園児達からのかわいらしい「お礼の手紙」を届けて下さり、

生徒たちは「関わる楽しさ」「貢献」を実感することができたそうです。



「学年交流会」(中学部)

中学部3年生は、学年交流会でカラオケ店へ! 最近の曲や昭和の曲を歌う生徒まで、みんなで盛り上がったそうです。校外学習にあたり、「余暇を楽しむ力」「入店手続き」「店内でのマナー」など社会生活につながる視点はたくさんあります。

何よりも「仲間と楽しむ」時間は得がたいものです。他学年もそれぞれ学年交流会を楽しんだようです。



「先輩と語ろう会」(総合教育センター分教室)

令和4年度の先輩2名から学校生活について、仕事を決めるまでの気持ちの変化、今の目標を聞く機会を設けました。この日は、授業参観として参加された保護者の皆さんからも質問があがったそうです。生徒、保護者からたくさんの感想が寄せられました。分教室20名の今後につなげてほしいと期待します。

就職までの不安は自分が成長するために必要でした。



服務研修(人権意識について)

日々の研修の中でも、今年は特に人権について扱うことを大切にしています。2回目の研修では、長野宏昭先生(いきが在宅クリニック院長)を招き、「折れない心を育てるいのちの授業」の講話をして頂きました。

ワークを取り入れた研修を通して、子ども達との関わり方や、話の聞き方、寄り添い方などについて理解を深めました。日頃の幼児児童生徒や保護者の皆さま、関係機関と連携する大切さについて考える研修となりました。



学校評議員の紹介 ~1年間よろしくお祈りします~

- ・大沼 直樹さん(学識者)
- ・翁長 克さん(就労コーディネーター)
- ・金城 幸次さん(元小学校長)
- ・玉城 惇さん(元特別支援学校校長)
- ・上間 哲さん(宮里児童センター所長)

7月3日に学校評議員会を開催しました。授業参観や教育活動の説明を行い、質問や助言を受ける機会となりました。貴重なご意見を踏まえ、よりよい学校運営につなげていきます。

